

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま  
す)

1. 開講年度	2019年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 学校教員の世界 (英文名) School Teacher's World				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 竹口 幸志, 宮下 晃一 (ローマ字) TAKEGUCHI Koji, MIYASHITA Koichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため、 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)教員養成, (2)学校教員, (3)学校教員としての資質・能力, (4)教員採用 (1)Teacher Training, (2)School Teacher, (3)Qualities Ability, (4) Hiring teachers				
21. 授業概要	キャリア教育の一環として、様々な学部で学ぶ学生に対して学校教員という職業の魅力や課題を伝え、 学生が自らの将来設計のために大学で何を学ぶべきかに気付くための機会を提供します。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	本講義は、学校教員の仕事の内容、学校教員と子どものかかわり、学校教員としての自己研鑽、授業 の様子などを取り上げ、学校教員になるために今何をすべきかについて考えを深めます。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1.教員という仕事を理解する。 2.教員の責任を理解する。 3.教職の専門性を理解する。 4.教員の授業研究や自己研鑽を理解する。 5.自己のキャリア形成について主体的かつ具体的に考えることができる。				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 学校教員になるための準備</p> <p>第3回 学校教員と子どもの取り組みについて</p> <p>第4回 学校教員の自己研鑽</p> <p>第5回 学校教員と家庭の両立</p> <p>第6回 教科教育学 数学教育の今と今後</p> <p>第7回 養護教諭の世界</p> <p>第8回 特別支援学校における試み</p> <p>第9回 教科教育学 保健体育の授業</p> <p>第10回 教科教育学 外国語(英語)の授業</p> <p>第11回 教科教育学 音楽の授業</p> <p>第12回 教科教育学 技術家庭科の授業</p> <p>第13回 幼稚園教諭の1日</p> <p>第14回 比較教育 他国の教育と日本の教育</p> <p>第15回 まとめ</p>	<input type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	学習習慣の定着と学習理解の促進のため、予習と復習を勧めます。	<input type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法: レポート, 討論, 試験</p> <p>成績評価の観点: レポート(客観性, 批判的思考, 新規性, 妥当性, 論理的思考, 文章表現力), 討論(学びあい, 助け合い), 試験(学習到達度, 主体的問題解決力等)。</p> <p>成績評価の基準: レポート(40%), 討論(30%), 試験(30%)</p> <p>注1: 各授業回に設置された動画はすべて視聴してください。動画を視聴せず、課題(レポート, 討論, 試験を含む)のみを提出した場合は授業を視聴していないものと判断し、提出された課題(レポート, 討論, 試験を含む)は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注2: 指定された期日を過ぎて課題(レポート, 討論, 試験を含む)を提出した場合、提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期日内に提出してください。</p> <p>注3: レポート, 討論, 試験等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合、当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注4: 質疑や学習のフィードバック: 適宜行いますが、内容に応じて回答に時間を要する場合があります。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	

30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講の条件:	e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。 なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータルームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	受講人数制限:	設けない。 ただし、受講期間を設けます。受講期間は、受講生が所属する大学の成績判定 〆 切に応じて設定します。開講時に教務または学習管理システム(Moodle)を通して通達します。			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	受講期間について:	教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。 受講期間を十分に確認して受講してください。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について:	<b>履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。</b> 自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。			
	受講の辞退について:	受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学 教務で手続きしてください。手続きが行われない場合、受講者として捉え、受講督促を行う場合があります。			
	禁止事項について:	なりすましによる受講と受験、レポート盗用、コンピュータ内への動画の保存・蓄積、インターネット上への無断配信・共有、掲示板における教職員、学生への誹謗中傷 等。これらの不正行為が発見された場合、大学の規定に基づき厳正に対処します。			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。		<input type="checkbox"/>		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
	参考書2	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
	参考書3	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
<input type="checkbox"/>					

34. Webテキスト (URL・説明)	なし		<input type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受 講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	なし <input type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授 業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。</li> <li>【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。</li> <li>【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。</li> <li>【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。</li> <li>【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相 談場所／学生開示用 メール	自大学 学生向け	(竹口)Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp (宮下)Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(竹口)Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp (宮下)Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. その他／備考	とくになし。		<input type="checkbox"/>

シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま  
す)

1. 開講年度	平成31年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	全学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 阿波学				
	(英文名) Awa-Gaku				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (なし)				
	(英文名) (なし)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 藤原伸彦, 宮下晃一, 竹口幸志				
	(ローマ字) Nobuhiko FUJIHARA, Koichi MIYASHITA, Koji TAKEGUCHI				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必修区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1) 四国遍路 / Shikoku Pilgrimage (2) 俳句の心理学 / Psychology of Haiku (3) 四国遍路の歴史, 文化, 地理 / History, Culture, Geography of Shikoku Pilgrimage (4) 歩き遍路と教育 / Shikoku Pilgrimage and Education				
21. 授業概要	四国遍路の歴史や文化, 歩き遍路体験者の心理等について, 講義を通して学ぶ。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	四国の文化アイデンティティたる遍路について学ぶことを通じ, 地域理解を深め, 地域の教育リーダーと しての資質を養う。講義を通して, 遍路に関する基礎理解を形成する。遍路の歴史や文化, 遍路と地域 社会のかかわりなどについて知る。				<input type="checkbox"/>

23. 授業の到達目標 ／学修課題	講義により、地域社会における遍路文化に関する基礎理解を得る。歩き遍路体験により、遍路地域の文化や自然、遍路を支える人々の活動、自治体の取組などを直接知る。以上を通じ、教育や学校にたずさわろうとする者にとっての、地域文化を理解・尊重する基盤的態度・視座を形成する。	<input type="checkbox"/>	
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 四国遍路と俳句の心理学</p> <p>第3回 四国遍路と地理</p> <p>第4回 四国遍路に関する歴史(近世)</p> <p>第5回 歩き遍路と教育(1)</p> <p>第6回 歩き遍路と教育(2)</p> <p>第7回 歩き遍路と教育(3)</p> <p>第8回 まとめ</p>	<input type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	毎回課題が出るので、必ず取り組むこと。課題の提出を持って出席とする。	<input checked="" type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法 と基準	課題の提出状況及び内容、フォーラムにおけるディスカッションの状況及び内容等を総合的に評価する。ただし、3分の2以上の出席を要する。	<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	なし	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	なし	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:なし</p> <p>ただし、鳴門教育大学の学生はe-ラーニング「阿波学」を履修できない。対面授業型の阿波学を履修すること。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>平成30年度以前に「阿波学」を単位修得している場合は履修できない。</p> <p>動画には著作権があるため、むやみにダウンロードなどしないこと。</p>		<input checked="" type="checkbox"/>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□																																		
教科書1	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□
参考書1	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
参考書2	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
参考書3	書名																																																							
	ISBN		著者名																																																					
	出版社		出版年																																																					
	金額		備考																																																					
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ  <a href="http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/">http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</a></p>				□																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他( )	□																																																				
37. 教員相互参観授業公開日程					□																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(fujihara@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること			□																																																			
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ)			□																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	電子メール(fujihara@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること			□																																																			
	連携大学 学生向け	電子メール(fujihara@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること			□																																																			
40. その他／備考					□																																																			

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま  
す)

1. 開講年度	2019年度		2. 開講学期	後期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)自動車概論 (英文名) Introduction to Automobile Engineering and Society				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)宮下 晃一 (ローマ字)MIYASHITA Koichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)自動車, (2)技術, (3)社会 (1) Automobile, (2) Engineering, (3) Society				
21. 授業概要	自動車社会の一員として責任をもって自動車と関わっていく上で知っておくべき自動車の社会的な役割と弊害, 構造と技術, 日常点検と整備の方法, 万一の事故対応や保険制度について, 幅広く解説する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	公共交通機関があまり発達していない上に過疎化や高齢化が進む四国地方では, これからも自動車を上手に活用していく必要がある。環境やエネルギーの世界的な動向と地域社会における必要性を理解しながら, 適切に自動車を利用できる, 将来の自動車社会の担い手を育成する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	自動車の社会的な役割と弊害, 構造と技術, 最近の技術動向, 日常点検と整備の方法, 万一の事故対応や保険制度等を正しく理解する。				<input type="checkbox"/>



24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)						
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 自動車社会の功罪 第2回 自動車の構造 (エンジン) 第3回 自動車の構造 (クラッチ, 変速機) 第4回 自動車の構造 (ステアリング, ブレーキ) 第5回 自動車の構造 (差動歯車, サスペンション, タイヤ) 第6回 最近の技術動向と自動車社会の行方 第7回 日常の点検・整備 第8回 ドライバーの責任と義務			<input checked="" type="checkbox"/>		
27. 授業時間外学習にかかわる情報	授業で学んだ内容について, さらに詳しく資料を調べ, 自分や家族の自動車を使って実践しながら, 学習していただきたい。			<input type="checkbox"/>		
28. 成績評価の方法と基準	授業毎に課される課題の提出状況と内容により評価する。			<input checked="" type="checkbox"/>		
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。		<input type="checkbox"/>		
	連携大学学生向け	再試験は行わない。				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし 受講期間は開講時に通知するため, 留意されたい。			<input checked="" type="checkbox"/>		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。			<input checked="" type="checkbox"/>		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	ダイナミック図解 自動車のしくみパーフェクト事典			□
		ISBN	4816355022	著者名	古川 修	
		出版社	ナツメ社	出版年	2013	
		金額		備考		
	参考書2	書名	損をしないためのポイントがわかる 交通事故に遭ったら読む本			
		ISBN	4534052138	著者名	ベリーベスト法律事務所	
		出版社	日本実業出版社	出版年	2014	
		金額		備考		
	参考書3	書名	モビリティ革命2030 自動車産業の破壊と創造			
		ISBN	4822237273	著者名	デロイト トーマツ	
		出版社	日経BP社	出版年	2016	
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ <a href="http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/">http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</a>				□	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		□	
37. 教員相互参観授業公開日程					□	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(miyasita@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。			□	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(miyasita@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。			□	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp			□	
	連携大学 学生向け	Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp			□	
40. その他／備考	なし				□	

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま  
す)

1. 開講年度	2019年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 子どもと学校 (英文名) Children and School				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 竹口 幸志 (ローマ字) TAKEGUCHI Koji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため、 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)学び, (2)教育, (3)子ども, (4)学校, (5)地域 (1)Learning, (2)Education, (3)Children, (4)School, (5)Region				
21. 授業概要	時代とともに子どもを取り巻く社会環境は変化してきました。本講義では、子どもの遊び、子ども同士のかかわり、子どもと親のかかわり、子どもと教師のかかわり、子どもと学校のかかわり、地域のかかわりなどを取り上げ、これからの教育と教育へのかかわり方について考えます。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	子どもの発達、子どもの社会化、学制と学校設置の歴史的変遷、社会における学校機能、地域と学校のかかわりを理解することにより、親として、教員として、地域の参加者として、今後の教育を考える主体的な態度を身につけます。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1.子どもの発達、子どもの社会化、学制と学校設置の歴史的変遷、学校機能、地域と学校のかかわりについて理解している。 2.教育にかかわるうえで、主体的な態度が身につけている。				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 学校の歴史 -西洋の学校-</p> <p>第3回 学校の歴史 -日本の学校-</p> <p>第4回 学校の機能と特性</p> <p>第5回 徳島の教育史 1</p> <p>第6回 徳島の教育史 2</p> <p>第7回 子どもの発達について</p> <p>第8回 子どもという存在について</p> <p>第9回 家族の中の子ども</p> <p>第10回 子どもの集団</p> <p>第11回 子どもと学校の出会い</p> <p>第12回 学校臨床</p> <p>第13回 社会の中の学校</p> <p>第14回 問題の再定義と対応策の検討</p> <p>第15回 まとめ</p>	<input type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	学習習慣の定着と学習理解の促進のため、予習と復習を勧めます。	<input type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法:レポート, 討論, 試験 等</p> <p>成績評価の時期:受講期間終了後, 成績処理を行う</p> <p>成績評価の観点:レポート(客観性, 批判的思考, 新規性, 妥当性, 論理的思考, 文章表現力), 討論(学びあい, 助け合い), 試験(学習到達度, 主体的問題解決力等)</p> <p>成績評価の基準:レポート(40%), 討論(30%), 試験(30%)</p> <p>注1:各授業回に設置された動画はすべて視聴してください。動画を視聴せず、課題(レポート, 討論, 試験を含む)のみを提出した場合は授業を視聴していないものと判断し、提出された課題(レポート, 討論, 試験を含む)は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注2:指定された期日を過ぎて課題(レポート, 討論, 試験を含む)を提出した場合、提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期日内に提出してください。</p> <p>注3:レポート, 討論, 試験等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合、当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注4:質疑や学習のフィードバック:適宜行いますが、内容に応じて回答に時間を要する場合があります。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	

30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講の条件:	e-Learning形式による授業のため基本的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。 なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	受講人数制限:	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受講人数制限を設けません。各大学10名まで受講可能となります。</li> <li>● 受講期間を設けません。受講期間は、受講生が所属する大学の成績判定に切に応じて設定します。開講時に教務または学習管理システム(Moodle)を通して通達します。</li> </ul>			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	受講期間について:	教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。 受講期間を十分に確認して受講してください。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について:	<b>履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。</b> 自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。			
	受講の辞退について:	受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学 教務で手続きしてください。手続きが行われない場合、受講者として捉え、受講督促を行う場合があります。			
	禁止事項について:	なりすましによる受講と受験、レポート盗用、コンピュータ内への動画の保存・蓄積、インターネット上への無断配信・共有、掲示板における教職員、学生への誹謗中傷 等。これらの不正行為が発見された場合、大学の規定に基づき厳正に対処します。			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。		<input type="checkbox"/>		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
	参考書2	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
	参考書3	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
<input type="checkbox"/>					

34. Webテキスト (URL・説明)	なし		<input type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受 講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	なし <input type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授 業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。</li> <li>教務に関する質問事項は、所属大学の教務に問い合わせてください。</li> <li>技術的トラブルは、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。</li> <li>教務に関する質問事項は、所属大学の教務に問い合わせてください。</li> <li>技術的トラブルは、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相 談場所／学生開示用 メール	自大学 学生向け	(竹口)Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(竹口)Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. その他／備考	とくになし。		<input type="checkbox"/>

## シラバス情報収集フォーマット(2016年6月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま  
す)

1. 開講年度	2019年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報社会の暮らし (英文名) Living in Information Society				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 竹口 幸志 (ローマ字) TAKEGUCHI Koji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため、 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)情報政策, (2)情報経済, (3)情報と法, (4)情報教育, (5)情報と倫理 (1)Policy, (2)Economics, (3)Law, (4)Education, (5)Ethics				
21. 授業概要	本講義では、情報政策、情報経済、情報と法、情報教育、情報と倫理の観点から情報社会の暮らしにつ いて考察します。日々刻々と変化する社会において、情報技術が及ぼす影響やこれからの情報との付 き合い方について考えてみましょう。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	情報技術発展の歴史的変遷等に触れながら、情報化の概念を理解し、情報社会において情報の取捨 選択と主体的な活動ができる態度を養います。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1.情報化の概念を理解している。 2.情報技術の発展の歴史を理解している。 3.情報技術が及ぼす影響について考えることができる。 4.情報社会を生きる上で規範意識をもち、主体的に行動することができる。				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)			
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)			
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 情報社会とは</p> <p>第3回 情報技術の発達と動向</p> <p>第4回 情報産業の発達と動向</p> <p>第5回 情報社会における組織の変容</p> <p>第6回 情報化による文化の変容</p> <p>第7回 情報化が人間に及ぼす影響</p> <p>第8回 情報と教育</p> <p>第9回 知的財産権の保護と知的財産政策</p> <p>第10回 著作権の保護制度</p> <p>第11回 個人情報の保護とライフログビジネス</p> <p>第12回 セキュリティとサイバー犯罪</p> <p>第13回 法的責任, 信頼性と安全性の問題</p> <p>第14回 情報と倫理</p> <p>第15回 まとめ</p>	<input type="checkbox"/>	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	学習習慣の定着と学習理解の促進のため, 予習と復習を勧めます。	<input type="checkbox"/>	
28. 成績評価の方法と基準	<p>成績評価の方法: レポート, 討論, 試験 等。</p> <p>成績評価の時期: 受講期間終了後, 成績処理を行う。</p> <p>成績評価の観点: レポート(客観性, 批判的思考, 新規性, 妥当性, 論理的思考, 文章表現力), 討論(学びあい, 助け合い), 試験(学習到達度, 主体的問題解決力等)。</p> <p>成績評価の基準: レポート(40%), 討論(30%), 試験(30%)</p> <p>注1: 各授業回に設置された動画はすべて視聴してください。動画を視聴せず, 課題(レポート, 討論, 試験を含む)のみを提出した場合は授業を視聴していないものと判断し, 提出された課題(レポート, 討論, 試験を含む)は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注2: 指定された期日を過ぎて課題(レポート, 討論, 試験を含む)を提出した場合, 提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期日内に提出してください。</p> <p>注3: レポート, 討論, 試験等の課題にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合, 当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注4: 質疑や学習のフィードバック: 適宜行いますが, 内容に応じて回答に時間を要する場合があります。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。	<input type="checkbox"/>
	連携大学学生向け	再試験は行わない。	



30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講の条件:	e-Learning形式による授業のため基本的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので、操作に不安がある場合は、所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。 なお、本講義は大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を担保しています。家庭用パソコン、スマートフォン、タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりませんので注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	受講人数制限:	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受講人数制限を設けません。各大学10名まで受講可能となります。</li> <li>● 受講期間を設けません。受講期間は、受講生が所属する大学の成績判定に切に応じて設定します。開講時に教務または学習管理システム(Moodle)を通して通達します。</li> </ul>			
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	受講期間について:	教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。 受講期間を十分に確認して受講してください。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について:	<b>履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。</b> 自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。			
	受講の辞退について:	受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学 教務で手続きしてください。手続きが行われない場合、受講者として捉え、受講督促を行う場合があります。			
	禁止事項について:	なりすましによる受講と受験、レポート盗用、コンピュータ内への動画の保存・蓄積、インターネット上への無断配信・共有、掲示板における教職員、学生への誹謗中傷 等。これらの不正行為が発見された場合、大学の規定に基づき厳正に対処します。			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。		<input type="checkbox"/>		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
	参考書2	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
	参考書3	書名			
		ISBN		著者名	
		出版社		出版年	
		金額		備考	
<input type="checkbox"/>					

34. Webテキスト (URL・説明)	なし		<input type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受 講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	なし <input type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授 業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。</li> <li>教務に関する質問事項は、所属大学の教務に問い合わせてください。</li> <li>技術的トラブルは、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に設けない。電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。</li> <li>教務に関する質問事項は、所属大学の教務に問い合わせてください。</li> <li>技術的トラブルは、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相 談場所／学生開示用 メール	自大学 学生向け	(竹口)Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	(竹口)Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. その他／備考	とくになし。		<input type="checkbox"/>

## シラバス情報収集フォーマット(2018年1月改訂)

## 【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま  
す)

1. 開講年度	2019年度		2. 開講学期	前期後半	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	eラーニング	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国地区5国立大学連携による共同 実施科目		6. DPコード／分野コ ード／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) デジタルものづくり入門 (英文名) Introduction to Digital Fabrication				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)宮下 晃一 (ローマ字) MIYASHITA Koichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部1～3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1～3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)ものづくり, (2)デジタル, (3)3Dプリンタ, (4)3D-CAD, (5)設計 (1)Fabrication, (2)Digital, (3)3D-Printer, (4)3D-CAD, (5)Design				
21. 授業概要	3Dプリンタを使うと、誰でもが簡単にものづくりできる。3Dプリンタだけでなく、現在では様々な工作機 械がコンピュータ制御されて自動加工を行っている。それらの機械に必要なものはデジタル化された設 計図データ。設計データはインターネットを介して瞬時にどこにでも送信でき、ダウンロードでき、コピー でき、自分の必要な設計図に描きかえることが簡単にできる。つまり誰でもが自分の発想するものを3D プリンタで作ることができ、必要があれば世界中の工作機械を使って本格的に生産することもできる。こ のようなデジタルものづくりの世界を紹介するとともに、3D-CADを使った簡単な設計の演習を行う。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	3Dプリンタやレーザーカッターなど、デジタル技術を使ったものづくりの手法について概要を学び、 3D-CADを用いた簡単な設計法を体験するとともに、情報化の進展に伴う今後のものづくりの可能性を 展望する。				☑

23. 授業の到達目標 ／学修課題	3Dプリンタやレーザーカッターを使ったものづくりの方法を理解する。 3D-CADを使って、各自が製作したい物の設計データを制作する。			<input type="checkbox"/>		
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)						
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)						
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 授業の進め方。デジタルものづくりの概要。 第2回 3D-CAD演習・1 第3回 3D-CAD演習・2 第4回 3D-CAD演習・3 第5回 3D-CAD演習・4 第6回 3D-CAD演習・5 第7回 3D-CAD演習・6 第8回 課題製作			<input checked="" type="checkbox"/>		
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各自で3D-CADを使った演習を行って提出する課題がある。CADソフト(Fusion 360)を演習で使うので、各自のPCにインストールすること。			<input checked="" type="checkbox"/>		
28. 成績評価の方法と基準	授業毎に課される課題の提出状況と内容により評価する。			<input checked="" type="checkbox"/>		
29. 再試験の有無	自大学学生向け	再試験は行わない。		<input type="checkbox"/>		
	連携大学学生向け	再試験は行わない。				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし 受講期間は開講時に通知するため、留意されたい。			<input type="checkbox"/>		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。			<input checked="" type="checkbox"/>		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名			<input type="checkbox"/>	
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	MAKERS 21世紀の産業革命が始まる			<input type="checkbox"/>
		ISBN	4140815760	著者名	クリス・アンダーソン	
		出版社	NHK出版	出版年	2012年	
		金額	2,052円	備考		
	参考書2	書名	基礎からのFreeCAD			
		ISBN	4777519317	著者名	坪田 遼	
		出版社	工学社	出版年	2016年	
		金額	2,484円	備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	大学連携e-Learning教育支援センター四国(知プラ)ホームページ <a href="http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/">http://chipla-e.itc.kagawa-u.ac.jp/</a>				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要。CADソフト(Fusion 360)を演習で使うので、各自のPCにインストールすること。 ※Fusion360の動作環境について < Windows の場合 > OS : windows 7 SP1 か windows 8、windows 8.1、windows10。CPU:64bitのプロセッサー(32bitはサポート外)。メモリー:3GB(4GB推奨)。ネット回線:ADSLかそれ以上。HDDの空き容量:2GB以上。グラフィック:512MB GDDR RAM(数年前のPCでも余裕でクリアできると思われる)。ポインティングデバイス:マウス。 < Mac の場合 > OS : OS X Mavericks(10.9)以上。その他の項目はWindowsと同じ 大学によっては学生用PCで使える場合がある。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー:特に設けない。電子メール(miyasita@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー:特に設けない。電子メール(miyasita@naruto-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	Mail: miyasita@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. その他／備考	なし		<input type="checkbox"/>